

研究協力をお願い

昭和医科大学病では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

Dual Energy CT を用いた虚血診断におけるヨードマップ画像の有用性について	
1. 研究の対象および研究対象期間	2015 年 4 月 1 日から 2022 年 3 月 31 日までに昭和医科大学病院、昭和医科大学横浜市北部病院において Dual Energy CT 検査を施行した患者さんを対象とします。
2. 研究目的・方法	<p>本研究の目的は、Dual Energy CT（DECT）を用いて得られるヨードマップ画像の臨床応用における有用性を検討することです。特に、腸管虚血が疑われる症例において、ヨード濃度の定量値を活用することで、従来の単純 CT や造影 CT では判別困難であった微小な虚血の有無をより明瞭に可視化し、診断精度の向上を図ることを目的とします。</p> <p>本研究では、腸管虚血が疑われたイレウス症例に対して通常診療として施行された DECT を用いた造影 CT 検査から得られた既存画像データを対象とします。これらの画像に対してヨードマップ解析を行い、腸管壁のヨード量を定量的に評価します。得られた定量値を臨床診断と対比することで、腸管虚血を伴うイレウス（絞扼性イレウス）と、虚血を伴わないイレウス（単純性イレウス、麻痺性イレウス）の鑑別において、ヨードマップが有用な補助指標となり得るかを検討します。</p>
3. 研究期間	昭和医科大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから 2027 年 10 月 31 日まで
4. 研究に用いる試料・情報の種類	2015 年 4 月 1 日から 2022 年 3 月 31 日までに昭和医科大学病院、昭和医科大学横浜市北部病院において Dual Energy CT 検査を施行した患者の診療録情報（年齢、性別、身長、体重、診断）および DECT 画像を調査項目とします。
5. 外部への試料・情報の提供	該当いたしません
6. 研究組織	研究責任者 昭和医科大学 大学院保健医療学研究科 中井 雄一

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和医科大学藤が丘病院 放射線技術部 氏名：中井 雄一

住所：神奈川県横浜市青葉区藤が丘 1－30 電話番号：070-6560-4372

研究責任者：中井 雄一